

毎週水曜発行

# 復興ニュース

44号

2011年  
9月28日

発行：気仙市民復興連絡会

大船渡市末崎町字石浜 34-1

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>

Twitter @KesenShiminFR

## 八幡平チャリティウォークに参加 めんこい新人アナもいっしょ♡



ウォーキング中間地点・雫石河畔の玄武岩にて

9月18日、八幡平リゾートホテルが、被災地域のために企画・主催した「チャリティウォーク」に行ってきました。気仙からの参加者は「大船渡市歩こう会」メンバーなど総勢23人。午前7時に盛駅から送迎バスで出発して10時に八幡平着、仙台・八戸などからの参加者約90人とともに、およそ5kmのウォーキングを楽しみました。

おりからの小雨の中、シニア中心の地味な隊列（失礼！）

を救ったのは、「めんこいテレビ」の新人アナウンサー増田優香子さん。同じ岩手県内ということもあって、ほとんど大船渡グループが独占、一緒に写真を撮ったり握手をしたりで、みんな大はしゃぎでした。この増田アナ、食事後のお楽しみ抽選会では、すこし緊張しながら司会を担当。帰りのバスの中まで、見送ってくれました。午後6時15分からの「mit スーパー」の中で天気予報に出演しています。



めんこい新人増田アナ

## 「お茶っこの会」+折り紙 で世代間交流 大船渡市の一中・宮田団地

9月22日(木)午後、大船渡市の第一中学校（宮田）仮設団地の集会所で、「遠野まごころネット」主催の「お茶っこ」の会が開かれました。この日はあいにくの雨で、参加者は十数名でしたが、小さな子どもたちも参加。参加者の一人・和田さんが折った折り紙に子どもたちが興味を持ったことから、思わぬ世代を超えた交流の場となりました。

ボランティアさんたちは、雨のなか、からだの不自由な入居者の所には一軒一軒お茶っこの宅配サービスにまわりました。福井・福岡・関東各地など、遠くから来た方が多かったので言葉になじみがなく、私も

少しですがお年寄りとのケセン語通訳（！）をさせてもらいました。みなさん遠いところありがとうございました。

ちなみに福井からのボランティアの水田さんご夫妻、河畔のテントに寝ていたところ、夜中に増水した川にあやうく吞まれかけたとか…。

気をつけてくださいね (^\_^)

子どもたちと一緒に折り紙



折り紙 作品



雨の中、お茶の宅配

# 敬老の日イベント 民謡ショー 地の森団地で大船渡徳声会が出演



9月19日(月)敬老の日の10時から、大船渡市地の森の仮設団地で、団地自治会(清水会長)が主催する敬老の日イベント「民謡ショー」が開かれ、大勢のお年寄りが、生バンドつきで、地元の民謡グループ「大船渡徳声会(黒沢会長)」の民謡ショーを楽しみました。

(あっ、お年寄りじゃない人もいましたよ。念のため…) ショーでは大船渡徳声会メンバーが交代で自慢の美声を披露、おなじみの花笠音頭ではみんなに歌詞カードが配ら

れ、先生の指導で合唱するなど、出演者と観客が一体になって愉快的ひとときをすごしました。同自治会では、今後もさまざまな催し物を企画し、入居者同士や地域の人々との交流を図っていき

たいと話していました。また、このイベントには、主に福祉ケアを専門とする「さわやか福祉財団」も協力。高齢でからだが不自由なお年寄りの介護にあたりました。同財団はこの夏から、大船渡市内での活動をスタートしているそうです。これからもよろしくお願いします。



ほら写真こ撮ながら。そんなにおしよすがんねで →

## 支援の方から 励ましのメール

支援のお金をお送りくださったKさまから、あわせて、励ましのメールが届きますので、紹介させていただきます。お寄せいただいた支援金は、気仙の被災者支援のために大切に使用させていただきます。ご厚意ありがとうございます m(\_ \_)m

~~~~~  
そちらのことは、NHKラジオ第一の「私も一言 夕方ニュース」で知りました。こちらは東京在住で、被災地の人たちのことはニュースで聞くばかりですが、思うことはいろいろで複雑です。そちらの、真に被災地の人たちの力になっているところ、少しでも力になろうと、多岐にわたって細やかなことをされているところはとても素晴らしいと思います。現地、地元の人たちが望み、納得のいく形で復興が実現することを心より願っています。 K

## いつまでもお元気で！ 広田地区 敬老会を開催



9月19日(月)、陸前高田市の広田小体育館では、広田町コミュニティ推進協議会主催による敬老会が開かれ、たくさんのお年寄りが参加しました。

この会の目玉イベントは歌謡ショー。色とりどりの着物の出演者がなつかしい歌謡曲や演歌、尺八・三味線の生演奏つきの民謡などを披露しました。参加のお年寄りたちの中には、津波で家が流され仮設住まいの人も多いのですが、この日ばかりは日ごろの心配ごとを忘れて、舞台やお茶・お菓子を喜んでいました。(小松)

## ● 暮らしのお役立ち情報 ●

### イルカさん コンサート お早めにどうぞ！ 10月1日から整理券

♪なごり雪はあふる時を知りい～♪ あっ歌ってる場合じゃなかった。  
みなさん「なごり雪」ご存知ですよ。あのイルカさんが10月18日(火)、  
リアスホールで歌ってくれます。その名もズバリ『復興応援ライブ』なのがうれしい！  
主催は住友生命です。  
入場は無料ですが **整理券** が必要となります。配布は10月1日から。  
長い行列ができるかも知れないので、ご年配の方は座れる準備をした方がいいかも。



|               |                         |                      |
|---------------|-------------------------|----------------------|
| <b>整理券</b> 配布 | <b>10月1日(土) 午前10時から</b> | リアスホール受付 (なくなりしだい終了) |
| ライブ           | 10月18日(火) 午後6時半から       | リアスホール 大ホール          |
| 問合せ先          | 0192-26-4478            | リアスホール               |

### 中国雑技団 チャリティ公演 10月4日大船渡高・体育館で

サーカスといえばポリショイ、そう思い込んでる人いませんか？  
実は、中国雑技はもっとすごいんですよ。中国五千年の歴史の中で磨きぬかれた、アクロバットや  
曲芸などのスーパー伝統芸能にはきっと驚くはず。

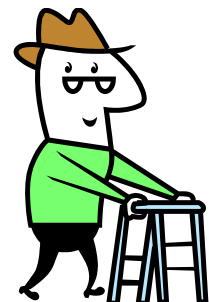


なにしろ本物は皇帝・貴族の宮廷でしか見れなかったんだから(たぶん…)  
それが無料！ご用とお急ぎのある方も必見。ご損はさせませんよ。お立ち合い！  
10月4日(火) 午後7時から 大船渡高校 体育館  
入場無料 演目 獅子舞、雑技、変面、京劇  
主催 株DAN (TEL03-5386-6334)

### シニアが元気！地域も元気！ 10月19日夢ネット・岩城理事長が講演

シニアが生きがいを持ってすごせる地域づくりを、みんなで考えようというセミナーが、10月  
19日(水)に大船渡市のリアスホールで開催されます。講師をつとめるのは気仙地域で活動するN  
PO「夢ネット」理事長の岩城さん。震災後の地域づくりと高齢者の暮らしについて、具体的な事  
例を交えながら講演します。もちろん入場は無料。年齢を問わず、お気軽にご参加ください。

|                |                                          |
|----------------|------------------------------------------|
| 10月19日(水)午後1時～ | リアスホール マルチスペース                           |
| 講演             | 岩城恭治 さん (NPO法人「夢ネット」理事長)                 |
| 事例紹介           | 「音声訳オープンハート」、「寺町桜を育てる会」                  |
| 主催・問合せ         | 岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター<br>TEL 019-606-1774 |





## 『コープあいち』を紹介します 愛知県からの『復興支援ツアー』も計画中



仮設住宅にお住まいの皆さま中心にお届けしている袋入タオル。実は、そのほとんどが名古屋市に本部のある生活協同組合『コープあいち』の組合員さんから支援していただいているものです。

『コープあいち』は、震災後の5月、いち早く住田町にスタッフを常駐させ、ここ気仙地域での復興支援に取り組んでくれています。

← 復興支援への熱い思いを語る岩本さん

同生協の岩本さん(住田町常駐スタッフ・写真上)は「この10月・11月には、生協組合員の皆さんが参加する『復興支援ツアー』も予定しており、テレビ画面では伝わらない被災地の実態を見てもらうことで、遠く離れた愛知と気仙の交流をさらに深めて行きたい」と話してくれました。

### 〜〜 ケセン語ツイッター 気仙のつぶやき 〜

今回かなりキツがったね (^◇^)

「いつのごっだか忘せだども、むかし気仙さ小ちゃこい村あつたづもんな。そごの役人どあ、何あつても知らねふりして、いっこ仕事もしねえ、かばね病みで から威張り ばりだったんだづ。

それ見だ神さま、すっかり怒ってしまつて、役人どさバチあでべつて、地震だの津波だのよごしたのさ。

んだども、神様も人間だから(?)まちがつて、何のトガもねえ村の人どおも一緒に被災してしまつたんだづもんな。もぞやな、なあ…。

ほんでも、村の役人どあ見で見ねふりして、我(われ)ばり先に逃げで、何日も連絡とれねようなどごさ隠れでしまつたのも、いだんだど。何としたごっだべ。

そんたらどぎ、村の人ど一緒に、泥だらげになつて復興ば手伝つたのあ、NPOだのボランティアだのの人どだったのす。ほんながでも、外人さんどあはっきりもの語つたら『最小の官僚の介入と最大の効果』つうピラまで作つて、みんなさ配つたもんだ。それ見だ村の人どあ『んだんだ、役にも立たね役人なんが、いねえほいい。いらね!いらね!』つて、みんなして、仕事しね役人ほっかけて追ん出したんだど。どんどはりゃ」

…こんな昔かたり聞いたごどねえべがね? ん、どごのが役所の係長さん。(S)



### 活動情報・くらしの情報 お寄せください

気仙市民復興連絡会では、気仙地域の復興支援活動をする団体や各仮設団地自治会などの情報発信をサポートしています。どうぞご利用下さい。また仮設団地などでの広報活動のお手伝いもさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。こんな行事や催しがある、こんな要望がある、どんなことでも結構です。みなさまのくらしに関わる情報を、どんどんお寄せください。

なお、配布や設置にご協力いただける個人の方や店舗さま・団体さまも募集しています。

電話・ファックス 0192-47-3271



【復興ニュース】 第44号 2011.09.28

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

[kesenshimin.f@gmail.com](mailto:kesenshimin.f@gmail.com)

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

この「復興ニュース」は

中央共同募金会からの助成金で発行しています

